

富山高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	船体管理論Ⅱ	
科目基礎情報							
科目番号	0117			科目区分	専門 / 必修		
授業形態	授業			単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	商船学科			対象学年	3		
開設期	後期			週時間数	2		
教科書/教材	基本 運用術 海文堂						
担当教員	笹谷 敬二						
到達目標							
船舶の各部名称、主要目、船体設備、属具、船舶安全法に基づく船舶検査の概要を理解する。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	船舶安全法をもとに、船舶の種類、船体構造、設備、船舶が受験しなければならない各種検査について講義を行う。						
授業の進め方・方法	教科書、資料、パワーポイントにより、船体管理の基本的な知識を習得する。						
注意点	養成施設の授業に該当する 運用に関する科目のうち船舶の構造、設備、復元性および損傷制御 貨物の取り扱いおよび積み付け 機会のある度学生の要望を確認し授業を実施する 評価が60点未満の者については、願い出により追認試験を受けることが出来る 結果、習得が認められた評価は60点とする 評価基準は本試験と同じとする						
授業計画							
後期	3rdQ	週	授業内容			週ごとの到達目標	
		1週	シラバスの説明			船の分類方法	
		2週	船体各部の名称			船体外部の名称	
		3週	同上			船体内部の名称	
		4週	船体要目			船の主要寸法	
		5週	同上			同上	
		6週	船のトン数			トン数の分類	
		7週	係船設備			錨、揚錨機	
	4thQ	8週	操舵設備			舵と操舵設備	
		9週	中間試験				
		10週	救命設備			救命設備の種類など	
		11週	荷役設備			積み荷の設備と載貨法	
		12週	船舶検査			船体検査について	
		13週	入出渠			ドックの種類など	
		14週	船体整備			船体塗装 等	
		15週	期末試験				
		16週	答案返却 解説 授業 アンケートなど				
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	0	0	0	0	0	0
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0